

ハードディスク オーディオレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いが示されています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



HAR-LH500

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きます。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。

窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前のためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- 何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。また録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
(お問い合わせ先：(社)私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336)

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本機の説明書の使いかた

本機には下記の説明書が付属しています。必要に応じてそれぞれの説明書をお使いください。

HAR-LH500取扱説明書(本書)

本体の接続と操作全般について説明しています。

この中では、主にリモコンでの操作のしかたを説明しています。本体では、リモコンと同じ表示のボタンを使って、同様に操作できます。

「M-crew for HAR-LH500」ヘルプ 付属のCD-ROMに入っています。

同じCD-ROMに入っている「M-crew for HAR-LH500」ソフトウェアの操作全般について説明しています。

「M-crew for HAR-LH500」ソフトウェアを、お手持ちのパソコンにインストールしたあと、お使いになれます。

「M-crew for HAR-LH500」イン ストールマニュアル

付属のCD-ROMに入っています。

同じCD-ROMに入っている「M-crew for HAR-LH500」ソフトウェアを、お手持ちのパソコンへインストールする方法を説明しています。

目次

本機の説明書の使いかた.....	2
こんなことができます.....	4
再生できるディスクについて.....	6

接続と準備

箱から出したら.....	6
接続する.....	7

いろいろな再生のしかた

(CD)

CDを入れる.....	8
CDを聞く.....	8
表示窓の使いかた.....	10
聞きたい曲を好きな順に聞く.....	11

いろいろな録音のしかた

(HDD)

録音するときのご注意.....	12
CDをHDDに録音する.....	12
表示窓の使いかた.....	14
録音する.....	15
再生中のCDの曲を録音する.....	16
録音するときに便利な機能.....	16

いろいろな再生のしかた

(HDD)

HDDを聞く.....	20
表示窓の使いかた.....	22
プレイリストの曲を聞く.....	23
アルバムまたは曲を探す.....	24
最近聞いたアルバムを再生する.....	26

いろいろな編集のしかた (HDD)

編集するときのご注意.....	27
曲を消す.....	27
曲を分ける.....	28
曲をつなぐ.....	29
曲またはアルバムを移動する.....	30
曲名やアルバム名、アーティスト名を付ける.....	32
最後に行った編集操作を取り消す.....	37

その他の操作

音楽を聞きながら眠る.....	38
曲のファイル形式を変える.....	38

キーボードを使って操作する

キーボードを使って曲やアルバムに名前を付ける.....	39
キーボードを使って本体を操作する.....	39

その他

使用上のご注意.....	40
故障かな?と思ったら.....	42
メッセージ表示一覧.....	43
セットアップメニューの項目一覧.....	44
保証書とアフターサービス.....	44
主な仕様.....	45
ボタンの索引.....	46

こんなことができます

本機内蔵のハードディスクを使って、次のことができます。

最大1,340時間 (ATRAC3) の録音が可能

内蔵のハードディスク (HDD) には、ATRAC3形式で約1,340時間、Linear PCM形式で約125時間のデータを録音できます。最大で999個のアルバムを作成し、1つのアルバムに400曲まで録音できます。また、ハードディスク全体では、合計40,000曲が録音可能です。また、ミニディスクデッキのように、シンクロ録音や録音した曲の編集ができます。

パソコンからMP3形式ファイルを転送付属の「M-crew for HAR-LH500」ソフトウェアを使って、パソコン内のMP3形式のファイルをHDDに転送することができます。

検索

HDD上の曲やアルバムを簡単に見つけることができます。

• キーワード検索 (24ページ)

キーワードを入力してアルバムや曲を見つけて聞くことができます。アルバム名、曲名、アーティスト名が付いているときにこの機能を使うことができます。

• アーティスト再生 (25ページ)

アーティスト名を入力して、お好みのアーティストの曲だけを見つけて聞くことができます。アーティスト名が付いているときにこの機能を使うことができます。

CDDDBからの名前の自動入力

付属の「M-crew for HAR-LH500」を使うと、Gracenote CDDB®*サーバへアクセスし、自動的に英文の曲名やアルバム名、アーティスト名を付けることができます。

* Gracenote CDDB®サーバとは、インターネット上にある音楽CDに関するデータベースです。ここから音楽CDのアルバム名、アーティスト名、曲名などを取り込むことができます。

好きな曲だけ集められるプレイリスト
プレイリストはHDD内の好きな曲だけを集めて聞くための入れ物です。HDD上に作成できる999個のアルバム以外に、プレイリストを10個まで作成できます。1つのプレイリストには最大400曲登録できます。プレイリストに登録する曲のデータはアルバム内に録音されているものですので、プレイリストから消しても元のアルバムには残ります。そのため、プレイリストには繰り返し違う曲を登録したり削除したりすることができます。

ご注意

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品の不具合により、録音ができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データ内容の補償については、ご容赦ください。
- ハードディスクへの録音は音楽データを一時的に保存する手段としてお考えください。必ず元データをバックアップ用に保管しておいてください。
- 破損または消去したデータを修復するサービスは致しておりません。
- 電源を入れたり、HDDの曲を再生したり、HDDへ録音したときなど、内蔵のハードディスクへのアクセス音が聞こえることがありますが、これはHDD特有のもので故障ではありません。
- 何も操作を行っていないのに本機から音が聞こえることがありますが、これは本機の自己修復機能によるもので故障ではありません。
- 本体が振動することもあります。故障ではありません。
- シリアルコピーマネジメント (41ページ) の制限により、デジタルデータのコピーはできません。よって、本機のCDプレーヤーからHDDに録音した曲、デジタルオプチカル入力端子からHDDに録音した曲、またはパソコンから本機のHDDに転送した曲を、デジタルオプチカル出力端子につないだ外部機器で録音することはできません。また、パソコンからMP3形式の曲を本機に転送すると、その曲は自動的にパソコンから削除されます。一度本機に転送したMP3形式の曲は、もう一度パソコンに戻すことはできません。

- M-crewはソニー株式会社の登録商標です。
- IBMは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。

Flow-Down License Terms

This product contains technology and data from Gracenote, Inc. of Berkeley, California (“Gracenote”). The technology from Gracenote (the “Gracenote Embedded Software”) enables this product to do disc identification and obtain music-related information, including name, artist, track, and title information (“Gracenote Data”), which is included on the Gracenote Database (the “Gracenote Database”).

You agree that you will use Gracenote Data, the Gracenote Database, and Embedded Software for your own personal non-commercial use only. You agree that you will access Gracenote Data only by means of the standard end user functions and features of this product. You agree not to assign, copy, transfer or transmit the Embedded Software or any Gracenote Data to any third party. **YOU AGREE NOT TO USE OR EXPLOIT GRACENOTE DATA, THE GRACENOTE DATABASE, OR GRACENOTE COMPONENT, EXCEPT AS EXPRESSLY PERMITTED HEREIN.**

You agree that your non-exclusive license to use the Gracenote Data, the Gracenote Database, and Embedded Software will terminate if you violate these restrictions. If your license terminates, you agree to cease any and all use of the Gracenote Data, the Gracenote Database, and Gracenote Embedded Software. Gracenote reserves all rights in the Gracenote Data, Gracenote Database, and Gracenote Embedded Software, including all ownership rights. You agree that Gracenote may enforce its rights under this Agreement against you directly in its own name. The Embedded Software and each item of Gracenote Data are licensed to you “AS IS.” Gracenote makes no representations or warranties, express or implied, regarding the accuracy of any Gracenote Data. Gracenote reserves the right to delete data or to change data categories in any Data updates and for any cause that Gracenote deems sufficient. No warranty is made that the Embedded Software is error-free or that functioning of the Embedded Software will be uninterrupted. Gracenote is not obligated to provide you with any new enhanced or additional data types or categories that Gracenote may choose to provide in the future.

GRACENOTE DISCLAIMS ALL WARRANTIES EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE, AND NON-INFRINGEMENT. GRACENOTE DOES NOT WARRANT THE RESULTS THAT WILL BE OBTAINED BY YOUR USE OF THE GRACENOTE COMPONENT OR ANY GRACENOTE SERVER. IN NO CASE WILL GRACENOTE BE LIABLE FOR ANY CONSEQUENTIAL OR INCIDENTAL DAMAGES OR FOR ANY LOST PROFITS OR LOST REVENUES.

Music recognition technology and related data are provided by Gracenote and the Gracenote CDDB® Music Recognition ServiceSM. Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information visit www.gracenote.com.

CD and music-related data from Gracenote CDDB® Music Recognition ServiceSM © 2000, 2001, 2002 Gracenote. Gracenote CDDB Client Software © 2000, 2001, 2002 Gracenote. U.S. Patents Numbers #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, and other patents issued or pending.

CDDB is a registered trademark of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo and logotype, and the “Powered by Gracenote CDDB” logo are trademarks of Gracenote. Music Recognition Service and MRS are service marks of Gracenote.



再生できるディスクについて

本機では次のディスクを再生することができます。次のディスク以外は再生できません。

再生できるディスクの一覧

ディスクの種類	ディスクに付いているマーク（ロゴ）	再生できるもの
---------	-------------------	---------

音楽用CD



音声

CD-R/
CD-RW



音声

再生できないディスクについて

本機では次のディスクを再生できません。

- CD-ROM（PHOTO CDを含む）
- 音楽用CDフォーマット以外で記録されたCD-R/CD-RW

CD-R/CD-RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集したCD-RおよびCD-RWディスクを再生することができます。ただし、録音に使用した機器やディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をしていないCD-RおよびCD-RWディスクは再生できません。
- マルチセッションモードで書き込まれたCD-RおよびCD-RWディスクは再生できません。

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものがあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

接続と準備

箱から出したら

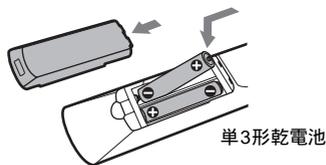
次の付属品がそろっているかどうかを確認してください。

- オーディオ接続コード（ピンプラグ×2 ↔ ピンプラグ×2）(2)
- 光デジタル接続コード (1)
- USBケーブル (1)
- リモートコマンド (1)
- 単3形乾電池 (2)
- CD-ROM (M-crew for HAR-LH500ソフトウェア / ヘルプ / インストールマニュアル) (1)
- ソニーサービス窓口・ご相談窓口のご案内 (1)
- 保証書 (1)

もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池（付属）2個を入れてください。



単3形乾電池

ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、本体に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

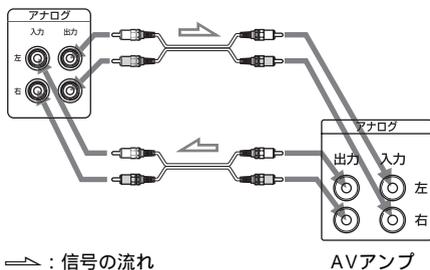
接続する

アンプ、DATデッキなどの外部機器と本体をつなぎます。接続するときは、各機器の電源を必ず切ってください。

アンプにつなぐとき

オーディオ接続コード（付属）を使って、本体後面のアナログ入力/出力端子につなぎます。白（左/L）端子には白プラグを、赤（右/R）端子には赤プラグをつないでください。

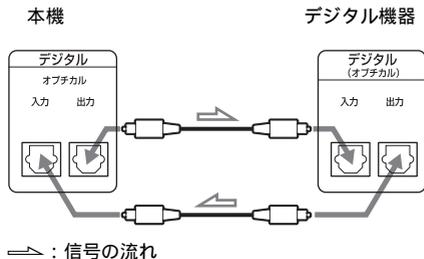
本機



デジタル機器につなぐとき

本機とデジタル機器（デジタルアンプなど）をつないでデジタル接続するときは、光デジタル接続コード*（付属）をデジタルオプチカル入力/出力端子につなぎます。

本機のデジタルオプチカル出力端子は、アンプなどにつないで音声を出力することを想定しています。そのため外部機器につないで録音した場合、音声以外の情報（テキスト情報や曲番など）は録音されません。光デジタル接続コードは折り曲げたり、束ねたりしないでください。



* 光デジタル接続コードは1本付属しています。デジタルオプチカル入力/出力の両方の端子につなぐときは、別売りの光デジタル接続コードがもう1本必要です。

ご注意

- デジタルオプチカル入力端子に接続して、CD-ROMのような音楽以外のCDソフトを再生するとノイズの原因になります。
- 他の機器を本機のデジタルオプチカル出力端子につないで録音をした場合、曲番が正しく付かないことがあります。
- デジタル録音できないときは、「Din Unlock」または「Cannot Copy」が表示されます（HDDのシステム上の制約）。このときは、アナログ入力端子につなぎ、ANALOGボタンを押して録音してください。
- 本体の上に、アンプなどの重いものを絶対に置かないでください

ちょっと一言

本機には、サンプリングレートコンバーターが搭載されています。すべてのデジタル入力信号を、サンプリング周波数（44.1kHz）に変換して録音します。

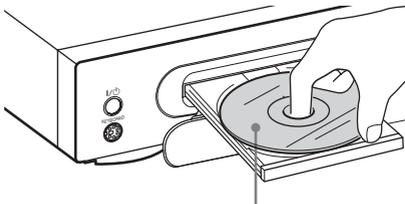
パソコンにつなぐとき

USBケーブル（付属）を、本体のUSB端子とパソコンのUSBポートにつなぎます。付属の「M-crew for HAR-LH500」ソフトウェアをお手持ちのパソコンにインストールし、本体とパソコンをつなぐと、パソコンの画面上でHDD内の曲の再生や編集をすることができます。

いろいろな再生のしかた (CD)

CDを入れる

- 1 アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えで本機が接続されているファンクションを選ぶ。
- 2 I/⏻ (電源) スイッチを押して電源を入れる。
- 3 CDボタンを押す (本体ではCD/HDDボタンを押して、CDランプを点灯させる)。 「CD」が表示されます。
- 4 OPEN/CLOSE▲ (CDトレイ開閉) ボタンを押す。
- 5 文字が書いてある面を上にして、CDを入れる。



シングルCDは、トレイ中央のくぼみの中に入れます。

- 6 OPEN/CLOSE▲ (CDトレイ開閉) ボタンをもう一度押す。

CDを聞く

(ノーマル/シャッフル/リピート)

いろいろな再生のしかたでCDを聞くことができます。

操作する前にCDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してCDランプを点灯させてください。

- 1 停止中にPLAY MODEボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

再生状態	選ぶ表示
ふつうの再生	(表示なし)
曲を順不同に再生	SHUFFLE
曲を好きな順に並べ換えて再生 (「聞きたい曲を好きな順に聞く」 (11ページ))	PROGRAM

- 2 ▷ボタンを押す (本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを押す (▷))。

繰り返し聞く (リピート再生)

いろいろな再生のしかたで繰り返しCDの曲を聞くことができます。

- 1 REPEATボタンを繰り返し押して、「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる。

再生状態	選ぶ表示
全曲を繰り返し再生	REPEAT
1曲を繰り返し再生	REPEAT 1
リピート再生を止める	(表示なし)

それぞれの再生モードでリピート再生を選んだときは、次のように繰り返します。

再生状態	繰り返される内容
ふつうの再生	全曲を曲番順に再生
シャッフル再生	全曲を繰り返すたびに曲順を変えて再生
プログラム再生 (11ページ)	プログラムした曲順に再生

その他の操作

こんなときは	操作のしかた
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	■ボタンを押す。再生を始めるには、もう一度■ボタンを押すか▷ボタンを押す(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを押す(▷))。
次の曲へ進む。 再生中の曲または前の曲の頭へ戻る。	▶▶ボタンを押す(次の曲の頭へ)または◀◀ボタンを押す(再生中の曲または前の曲の頭へ)(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを◀◀/▷▷方向へ回す)。
曲番で直接選ぶ(ダイレクト選曲)*	数字ボタンを押す。
聞きたい部分を探す	再生中、◀◀または▶▶ボタンを押したままにする。**
CDを取り出す	OPEN/CLOSE▲ボタンを押す。

* ダイレクト選曲で10曲め以降を選ぶときは、>10ボタンを押してから、10の位の数、1の位の数の順に数字ボタン(1~0/10)を押します(0を入力するときは0/10ボタンを使います)。
例) 30曲めを選ぶ場合

1 >10ボタンを押す。
「--」が表示されます。

2 3ボタンを押してから0/10ボタンを押す。

**再生一時停止中に◀◀または▶▶ボタンを押したままにすると、表示窓の再生時間を見ながら聞きたい部分を探すことができます(高速サーチ)。

ご注意

- 本機にCDが入っていないと、「No Disc」が表示されます。
- 聞きたい部分を探しているとき、または高速サーチを行っているときに、「- Over -」と表示されたときは、最後の曲の終わりまで進んでしまったので、◀◀ボタンを押して前に戻ってください。
- 外部入力に切り換えたときは(ANALOGまたはOPTICALボタンを押して「Analog In」または「Optical In」が表示されている状態)、CDの再生はできません。

ちょっと一言

- 全曲数と全再生時間、またはディスク名を表示しているときに、◀◀ボタンを押すと、すばやく最後の曲を選ぶことができます(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを◀◀方向へ回します)。
- 一時停止中、◀◀または▶▶ボタンを押すと、曲の頭で一時停止することができます(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを◀◀/▷▷方向へ回します)。

表示窓の使いかた

表示窓を使っていろいろな情報を調べることができます。

操作する前にCDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してCDランプを点灯させてください。

停止中



名前情報を表示するには

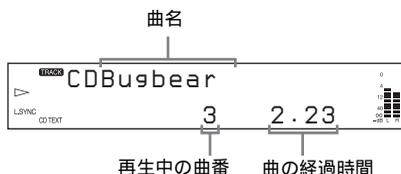
DISPLAYボタン（本体ではDISPLAY/CHARボタン）を繰り返し押す。

押すたびに表示は次のように変わります。

- 曲を選択していないとき
ディスク名 → ディスクのアーティスト名
- 曲を選択しているとき
曲名 → 曲のアーティスト名 → ディスク名

プログラム再生が選ばれていると、最後にプログラムした曲の曲番とプログラムの合計再生時間が表示されます。

再生中



名前情報を表示するには

DISPLAYボタン（本体ではDISPLAY/CHARボタン）を繰り返し押す。

押すたびに表示は次のように変わります。

曲名 → 曲のアーティスト名 → ディスク名

ちょっと一言

- CDテキスト対応のCDを入れる则表示窓に「CD TEXT」が表示されます。
- 表示しきれないディスク名または曲名（14文字以上）を表示するときは、SCROLLボタンを押すと、スクロールを止めることができます。もう一度押すと、再びスクロールします。

時間情報を表示するには

TIMEボタンを繰り返し押す。

押すたびに表示は次のように変わります。

経過時間 → 再生中の曲の残り時間 → ディスクの残り時間

ご注意

「REPEAT 1」、「SHUFFLE」または「PROGRAM」が選択されているときは、ディスクの残り時間は表示されません。

聞きたい曲を好きな順に聞く

(プログラム再生)

好きな曲を好きな順番に、25曲までプログラムできます。
操作する前にCDボタンを押してください。
本体ではCD/HDDボタンを押してCDランプを点灯させてください。

ご注意

CDとHDDの曲を組み合わせでプログラムすることはできません。

1 停止中にPLAY MODEボタンを繰り返し押し、「PROGRAM」を点灯させる。

2 ◀◀または▶▶ボタンを押して(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを◀◀/▶▶方向へ回して)プログラムしたい曲を選び、ENTERボタンを押す。

選んだ曲がプログラムされます。最後にプログラムした曲番とプログラムした曲の合計再生時間が表示されます。

数字ボタンを使って直接曲を選ぶこともできます。

10曲め以降の曲を選ぶときは、>10ボタンを使います(9ページ)。

3 手順2を繰り返し、聞きたい曲を順にプログラムする。

4 ▷ボタンを押す(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを押す(▷))。

プログラム再生をふつうの再生に戻すときは

停止中にPLAY MODEボタンを繰り返し押し、「PROGRAM」を消します。

ご注意

- プログラムの合計時間が1,000分を超える場合、合計時間は表示されません。
- 「Step Full!」と表示されたときはプログラムが25曲を超えています。いろいろな曲を消してからプログラムしてください。
- CDを取り出ししたり、電源を切ったり、電源プラグを抜いたりすると、プログラムは消えます。

ちょっと一言

プログラムすべての再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。▷ボタンを押す(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを押す(▷))と、同じプログラムをもう一度再生することができます。

プログラムの内容を変えるときは

停止中に、プログラムの内容を変えることができます。

こんなときは	操作のしかた
プログラムの最後の曲を消す	CLEARボタンを押す。 押すたびに最後にプログラムした曲が消えます。

プログラムの最後に曲を追加する	手順2を繰り返す。
-----------------	-----------

いろいろな録音のしかた (HDD)

録音するときのご 注意

録音する前に

- 録音先のアルバムとしてプレイリストを選ぶことはできません。
- 録音済みの部分を消しながら録音することはできません。録音先のアルバムとして曲の入っているアルバムを選ぶと、自動的にアルバムの最後から録音されます。

録音した後は

HDDの再生モードは自動的にふつうの再生に切り換わります。

サンプリングレートコンバーターについて

本機にはサンプリングレートコンバーターが搭載されています。すべてのデジタル入力信号を、サンプリング周波数(44.1kHz)に変換して録音します。

録音できる最大曲数は

HDDに録音できる最大曲数は40,000曲です。ただし、プレイリストの曲は含みません。

録音先のアルバムを選んだときに、「Track Full!」が表示されたら

選んだアルバムには、すでに1つのアルバムに録音できる最大曲数(400曲)に達しています。別のアルバムを選んでください。

録音中に、「Drive Full!」が表示されたら

HDDに録音できる十分なスペースがない、または録音できる最大曲数に達したのでこれ以上録音することはできません。録音を続けるには、録音済みの曲をATRAC3形式に変換したり(38ページ) いない曲を消してください。

テキスト情報について

デジタルオプティカル入力端子に外部機器をつないでCDテキスト対応CDを録音する場合、テキスト情報は録音されません。

CDをHDDに録音 する

(CD-HDDシンクロ録音/高速
CD-HDDシンクロ録音)

ちょっと一言

- 手順中の「Edit Menu」や「Setup Menu」ではリモコンの◀/▶、ENTERボタンの代わりに本体のALBUMつまみでも操作できます。
表示を選ぶとき：ALBUMつまみを回す。
選んだ表示を確定するとき：ALBUMつまみを押す。
- リモコンの◀/▶ボタンの代わりにALBUM +/- ボタンでも操作できます。

1 アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えで本機が接続されているファンクションを選ぶ。

2 I/⏻(電源)スイッチを押し て電源を入れる。

3 CDボタンを押す(本体ではCD/HDDボタンを押してCDランプを点灯させる)。

4 CDを入れる。

5 MENU/NOボタンを押す。「Setup Menu」が表示されます。

6 ◀/▶ボタンを押して「Sync Normal」(または「Sync High」)を表示させ、ENTERまたはYESボタンを押す。

7 ←/→ボタンを押してお好みの録音速度を表示させ、ENTERまたはYESボタンを押す。

録音速度	選ぶ表示
CD再生と同じ (CD-HDDシンクロ録音)	Sync Normal
高速 (高速CD-HDDシンクロ録音)	Sync High (お買い上げ時の設定)

8 MENU/NOボタンを押す。

9 CD SYNCボタンを押す。

CDは再生一時停止に、HDDは録音待機状態になります。

録音先のアルバムを選ぶときは、ALBUM +/-ボタンを押して、表示窓で録音先のアルバムを選びます* (本体ではALBUMつまみを回します)。

* 数字ボタンを使って直接アルバム番号を選ぶこともできます (21ページ)。

10 ■ボタンまたは▷ボタンを押す (本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを押す (▷))。

録音が始まります。

高速CD-HDDシンクロ録音のときは、録音される音を聞くことができません。

録音を止めるには

■を押します。

長時間録音する (録音モード)

録音モードをATRAC3形式で録音すると、HDDに長時間録音することができます。

- 1 REC MODEボタンを押して、「ATRAC3」を点灯させる。
- 2 「CDをHDDに録音する」(12ページ)の手順5~10を行う。

ご注意

- 録音中に録音モードを変えることはできません。
- 録音モードをMP3形式に変えることはできません。

お買い上げ時の設定に戻すにはREC MODEボタンをもう一度押して、「ATRAC3」を消します。

セットアップメニューを使って録音モードを変える

セットアップメニューを使っても、録音モードを変えることができます。

- 1 停止中または録音一時停止中にMENU/NOボタンを押す。「Setup Menu」が表示されます。
- 2 ←/→ボタンを押して「Rec Mode」を表示させ、ENTERまたはYESボタンを押す。
- 3 ←/→ボタンを押して「ATRAC3」を表示させ、ENTERまたはYESボタンを押す。
- 4 「CDをHDDに録音する」(12ページ)の手順5~10を行う。

お買い上げ時の設定に戻すには手順3で「LinearPCM」を選びます。

ご注意

- 録音の途中でHDDに録音可能な空きスペースがなくなると、自動的に録音を終了します。
- シンクロ録音中は、録音を一時停止することができます。
- CDの再生モードがリピート再生またはシャッフル再生になっているときは、自動的にふつうの再生に切り換わります。
- HDDの再生モードは自動的にふつうの再生に切り換わります。
- 短い曲にはCDテキストが記録されないことがあります。
- 高速CD-HDDシンクロ録音の場合、次のようなCDを使用すると、読み取りエラーが起こり、ノイズなどが混入して正しく録音されない場合があります。
 - － シールなどが貼られている
 - － 円形以外の形をしている（ハート形など）
 - － レーベルの印刷が一方にかたよっている
 - － 傷がついている
 - － 汚れている
 - － 反っている
- 本機の状態が次のようなときも、読み取りエラーが起こって正しく録音されない場合があります。
 - － CDトレイや本体を叩いた
 - － 水平でないところや、柔らかいものの上に設置されている
 - － スピーカーやドアなど、振動源の近くに設置されている
- 上記の読み取りエラーが起こったときに、無音の曲が余分に作られることがあります。余分に作られた曲は、HDD編集のErase機能（27ページ）を使って消すことができます。

ちょっと一言

- 録音モードが「LinearPCM」（13ページ）のときに高速CD-HDDシンクロ録音を行うと、通常のCD-HDDシンクロ録音より最大12倍の速さで録音することができます。録音モードが「ATRAC3」のときでも、通常のCD-HDDシンクロ録音より最大3倍の速さで録音することができます。
- 録音を始める前に、録音モードを変えることができます（13ページ）。
- CDの聞きたい曲だけを聞きたい順番に並べ換えて録音できます。CDを入れたら、「聞きたい曲を好きな順に聞く」（11ページ）の操作を行ってから、シンクロ録音の操作をしてください。
- CDテキスト対応のCDを録音すると、曲名をHDDに自動的に記録できます。
- Gracenote CDDB®サーバに登録するとCDの曲名やアルバム名をHDDに録音することができます。Gracenote CDDB®サーバについて詳しくは「M-crew for HAR-LH500」のヘルプをご覧ください。

表示窓の使いかた

録音中に経過時間やHDDの使用状態を確認することができます。

経過時間やHDDの使用状態を表示するには

TIMEボタンを繰り返し押す。

押すたびに表示は次のように変わります。

曲番と経過時間 → HDDの録音済みスペース（％）

ご注意

- HDDの録音済みスペースは、はじめは使用率（％）で表示されますが、録音可能残り時間が999分59秒（「999.59」）になると時間で表示されるようになります。
- 何も録音されていない状態でも、HDDの録音済みスペースは0%にはなりません。

ちょっと一言

アナログ入力端子につないでアナログ録音するときは「Analog In」、デジタルオプティカル入力端子につないでデジタル録音するときは、「Optical In」と表示され、音源を確認することができます。

録音する

(マニュアル録音)

1 録音したい音源とアンプの電源を入れ、アンプでその音源を選ぶ。

2 本機の電源を入れる。

3 録音したい音源のボタンを押して、音源を選ぶ。

音源	押すボタン
本機のCDプレーヤー	CD
デジタルオプチカル入力端子に接続された機器	OPTICAL
アナログ入力端子に接続された機器	ANALOG

4 ●ボタンを押す。

「REC」が表示されます。

まだ録音は始まりません(録音待機状態)。

録音先のアルバムを変えるには

ALBUM +/-ボタンを押します(本体ではALBUMつまみを回します)。直接アルバム番号を入力するには、ALBUMボタンを押してから数字ボタンを押します(21ページ)。

音源が端子からの場合、必要に応じて、録音レベルを調節してください(「録音レベルを調節する」(19ページ))。

5 ■または▷ボタンを押す(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを押す(▷))。

録音が始まります。

6 録音したい音源の再生を始める。

その他の操作

こんなときは	操作のしかた
録音を止める	■ボタンを押す。
録音を一時停止する	■ボタンを押す。
一時停止を解除して録音を再開する*	■ボタンまたは▷を押す(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを押す(▷))。
曲番を付ける	●ボタンを押す。

* 曲番が1つ増えます。

ご注意

- 手順3でOPTICALまたはANALOGボタンを押した場合(「Optical In」または「Analog In」が表示されている状態)自動的に曲番が付かないことがあります。その場合は、「曲を分ける」(28ページ)を行って曲番を付けてください。
- 録音中に、CDやOPTICAL、ANALOGボタンを押して、音源を切り換えることはできません。
- 120分以上の曲を録音することはできません。録音時間が120分を超えると自動的に曲番が1つ追加されます。これ以上曲番を増やすことができない場合は録音が終了します。
- ボタンを押したときに、選択したアルバムに400曲入っていた場合は、そのアルバムのアルバム番号に最も近い番号のもので、録音可能なアルバムに録音されます。
- 手順3でOPTICALまたはANALOGボタンを押した場合(「Optical In」または「Analog In」が表示されている状態)録音中または録音待機中にはCDを操作することはできません。
- BS/CSデジタルチューナーから録音するときは、放送局側でデジタル録音を禁止または制約している場合があります。このため、放送チャンネルや番組によっては、デジタル録音できないことがあります。

ちょっと一言

録音を始める前に、録音モードを変えることができます(13ページ)。

「Din Unlock」が表示されたときは

- デジタル音源がきちんと接続されていません。デジタルオプチカル入力端子につながつている光デジタル接続コードがきちんと接続されているか確認してください。
- 音源の電源が入っていません。音源の電源を入れてください。

再生中のCDの曲を録音する

(レックイット機能)

再生中の曲の頭に戻って、その曲のみHDDに録音できます。

操作する前にCDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してCDランプを点灯させてください。

1 ▷ボタンを押して(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを押して(▷))CDの再生を始める。

2 録音したい曲の再生中に、REC ITボタンを押す。

再生中の曲の先頭に戻り、録音が始まります。

その曲の再生が終わると録音は停止し、CDは次の曲の再生を始めます。

録音を止めるときは

■ボタンを押します。

ご注意

- 選んだ曲がすでに録音されているアルバムを、録音先に選んで録音することはできません。最初に表示されていたアルバムに自動的に録音されません。
- HDDの再生モードは自動的にふつうの再生に切り換わります。
- 短い曲にはCDテキストが記録されないことがあります。

録音するときに便利な機能

(レベルシンクロ録音/スマートスペース機能/録音レベル調整)

操作する前にCDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してCDランプを点灯させてください。

ちょっと一言

- 手順中の「Edit Menu」や「Setup Menu」ではリモコンの◀/▶、ENTERボタンの代わりに本体のALBUMつまみでも操作できます。
表示を選ぶとき：ALBUMつまみを回す。
選んだ表示を確定するとき：ALBUMつまみを押す。
- リモコンの◀/▶ボタンの代わりにALBUM +/- ボタンでも操作できます。

録音中に自動的に曲番を付ける(レベルシンクロ録音)

本機に入っているCDの録音中に、自動的に曲番を付けることができます。曲番が付いていると、再生時の頭出しをするときや、編集するときなどに便利です。

外部機器と接続して録音するときは、次の操作を行って、曲番が自動的に付くように設定してください。次の操作を行うと、曲番は、録音したい音源の入力信号が約1.5秒以上一定のレベル以下になり、次にそのレベルを超える入力信号が入ってきたときに自動的に付きます。

こんなときは曲番が付かないことがあります。

- デジタルオプティカル入力端子に接続したデジタル機器から録音する場合や、録音する音源に雑音が多い場合(アナログ入力端子に接続したテープやラジオが音源の場合)などは、録音中に曲番が自動で付かず、すべての曲が1曲として録音されることがあります。
- アナログ入力端子につないだ機器で、レベルシンクロ録音の設定が「Tr.Mark Off」に設定されているときや、デジタルオプティカル入力端子につないだDATデッキやBS/CSデジタルチューナーなどから録音する場合、すべての曲が1曲として録音されることがあります。

1 停止中または録音一時停止中にMENU/NOボタンを押す。
「Setup Menu」が表示されます。

2 ←/→ボタンを押して「Tr.Mark Lsync」を表示させ、ENTERまたはYESボタンを押す。

3 MENU/NOボタンを押す。
「L.SYNC」が点灯します。

レベルシンクロ録音を止めるには
手順2で「Tr.Mark Off」を選びます。

レベルシンクロ録音の基準になる入力信号のレベルを設定するには
ここで入力信号のレベルを設定すると、その設定レベル以下の信号が約1.5秒以上続いたあとで、再び設定レベル以上の信号が入力されたときに新しい曲番が付きま

- 1** 停止中または録音一時停止中にMENU/NOボタンを押す。
「Setup Menu」が表示されます。
- 2** ←/→ボタンを繰り返し押して「L.Sync(T) -XXdB」を表示させ、ENTERまたはYESボタンを押す。
- 3** ←/→ボタンを繰り返し押して入力信号のレベルを選び、ENTERまたはYESボタンを押す。
入力信号のレベルは-72 dB ~ 0 dB (2 dB単位) の範囲で選ぶことができます (お買い上げ時は-50 dBに設定されています)。
- 4** MENU/NOボタンを押す。

お買い上げ時の状態に戻すには
手順3で入力信号のレベルを設定しているときにCLEARボタンを押します。

ご注意

- この機能によってアルバム内の曲が400曲を超えると、録音は停止します。
- CDから録音している場合、4秒未満の曲には曲番は付きません。
- 本機の電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたときは、次に電源を入れると最後のレベルシンクロ録音の設定 (「Tr.Mark Lsync」または「Tr.Mark Off」) と、入力信号レベルの設定値が記憶されています。

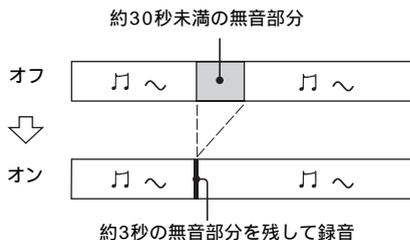
ちょっと一言

録音が終わってから曲番を付けることができます。
「曲を分ける」(28ページ)をご覧ください。

無音部分を自動的に消す (スマートスペース/オート カット機能)

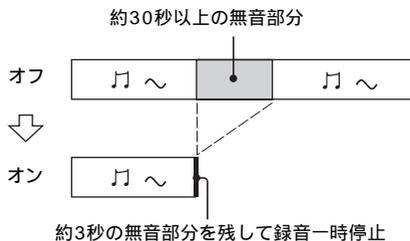
スマートスペース機能：録音中、約3秒以上30秒未満の無音部分のあと、信号が再び入力されたときに、曲間の約3秒のみ残し、他の無音部分を自動的に消して録音する機能です。

なお、無音部分で録音を開始したときは、スマートスペース機能は働きません。



オートカット機能：録音中、約30秒以上の無音部分が連続すると、本機は録音一時停止状態になります。このとき、曲間の約3秒を残し、他の無音部分を自動的に消去する機能です。オートカット機能による録音一時停止状態が約10分間続くと、録音は自動的に停止します。

なお、無音部分で録音を開始したときは、約30秒たってもオートカット機能は働きません。



1 停止または録音一時停止中にMENU/NOボタンを押す。「Setup Menu」が表示されます。

2 ←/→ボタンを繰り返し押し、「SmartSpace On」(または「SmartSpace Off」)を選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

3 ←/→ボタンを繰り返し押し、表示される項目を選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

設定	選ぶ表示
スマートスペース/ オートカット機能を オンにする	SmartSpace On (お買い上げ時の設定)
スマートスペース/ オートカット機能を オフにする	SmartSpace Off

4 MENU/NOボタンを押す。

ご注意

- CDから録音するときは、曲の途中に無音部分があってもスマートスペース機能は働かず、曲番は変わりません。
- スマートスペース機能をオン(またはオフ)にすると、自動的にオートカット機能もオン(またはオフ)になります。
- 録音一時停止状態が10分以上続くと、オートカット機能が働いていても、録音は自動的に停止します。
- 本機の電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしたときは、次に電源を入れると、最後のスマートスペース機能とオートカット機能の設定(「SmartSpace On」または「SmartSpace Off」)が記憶されています。
- この機能によってアルバム内の曲が400曲を超えると、録音は停止します。

録音レベルを調節する

アナログ録音中に、録音レベルを調節することができます。

1 「録音する」(15ページ)の手順1～3を行い、手順3でANALOGボタンを押す。

2 ●ボタンを押す。
録音待機状態になります。

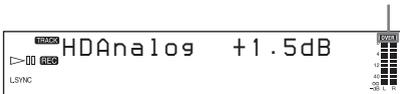
3 録音したい音源の一番大きい(再生レベルが一番高い)音の部分を再生する。

4 MENU/NOボタンを押す。
「Setup Menu」が表示されます。

5 ←/→ボタンを繰り返し押し
て「Analog X.XdB」を表示
させ、ENTERまたはYESボ
タンを押す。

6 ←/→ボタンを繰り返し押し
て、ピークレベルメータの
「OVER」が点灯しないよう
に録音レベルを調節する。

ここが点灯しないように



7 ENTERまたはYESボタンを
押す。

8 MENU/NOボタンを押す。

9 音源の再生を止める。

10 「録音する」(15ページ)の手
順5、6を行って録音する。

お買い上げ時の状態に戻すには
手順6で録音レベルを調節しているときに
CLEARボタンを押します。

ご注意

録音レベルは最大で+12 dBまで調節できます(お
買い上げ時は0 dB)。音源の出力レベルが低い場合
には、本機での録音レベルを最大まで上げられない
ことがあります。

ちょっと一言

録音待機中または録音中に、REC LEVEL +/-ボタ
ンを繰り返し押し、録音レベルを調節すること
もできます。表示は数秒すると元に戻ります。

いろいろな再生のしかた (HDD)

HDDを聞く

(ノーマル/シャッフル/リピート)

いろいろな再生のしかたでHDDの内容を聞くことができます。

- 1 アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えで本機が接続されているファンクションを選ぶ。
- 2 I/⏻ (電源) スイッチを押して電源を入れる。
- 3 HDDボタンを押す (本体ではCD/HDDボタンを押してHDDランプを点灯させる)。
- 4 停止中にPLAY MODEボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

表示項目	再生内容
ALL ALBUM	HDD内のすべてのアルバムを順番に再生
1 ALBUM	今選んでいるアルバムだけを再生
ALL ALBUM とSHUFFLE*	HDD内のすべてのアルバムの中の曲を順不同に再生** (全曲の曲数分を再生すると停止します。プレイリストは含みません。)
1 ALBUMと SHUFFLE	今選んでいるアルバムの中の曲を順不同に再生

* いくつかの曲が複数回、再生されることがあります。

**例えば、20曲入っていたら、20回再生します。このとき、同じ曲を2回再生することもあります (すべての曲が再生されないこともあります)。

- 5 ▷を押す (本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを押す (▷))。

繰り返し聞く (リピート再生)

いろいろな再生のしかたで繰り返しHDDの曲を聞くことができます。

- 1 REPEATボタンを繰り返し押して、「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる。

再生状態	選ぶ表示
全曲を繰り返し再生	REPEAT
1曲を繰り返し再生	REPEAT 1
リピート再生を止める	(表示なし)

それぞれの再生モードでリピート再生を選んだときは、次のように繰り返します。

再生状態	繰り返される内容
ふつうの再生 (ALL ALBUM時)	HDD内の全曲をアルバム番号および曲番順に再生
ふつうの再生 (1 ALBUM時)	現在選んでいるアルバム内の全曲を曲番順に再生
シャッフル再生 (ALL ALBUM時)	プレイリスト (23ページ) を除くHDD内の全曲を繰り返すたびに曲順を変えて再生
シャッフル再生 (1 ALBUM時)	現在選んでいるアルバム内の全曲を繰り返すたびに曲順を変えて再生

その他の操作

こんなときは	操作のしかた
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	■ボタンを押す。もう一度押すか▷ボタンを押す(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを押す(▷))と停止したところから再生が始まる。
次の曲へ進む。再生中の曲または前の曲の頭へ戻る。	▶▶▶ボタンを押す(次の曲の頭へ)または◀◀◀ボタンを押す(再生中の曲または前の曲の頭へ)(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを◀◀◀/▷▷▷方向へ回す)。
曲番で直接選ぶ(ダイレクト選曲)*1	数字ボタンを押す。
アルバム*2やプレイリスト*3を選ぶ	再生中または一時停止中にALBUM+(次のアルバム/プレイリストの頭へ)またはALBUM-ボタンを押す(再生中のアルバム/プレイリストまたは前のアルバム/プレイリストの頭へ)(本体ではALBUMつまみを回す)。
アルバム番号で直接選ぶ*4	ALBUMボタンを押してから、聞きたいアルバム番号の数字ボタンを押す。
聞きたい部分を探す*5	再生中、◀◀◀/▶▶▶ボタンを押したままにする。

*1 ダイレクト選曲で10曲め以降を選ぶときは、>10ボタンを押してから、10の位の数、1の位の数順に数字ボタン(1~0/10)を押します(0を入力するときは0/10ボタンを使います)。10~99曲入っているアルバムの場合、>10ボタンを押すと「--」が、100曲以上入っているアルバムを選ぶと「---」が表示されます。

例)100曲入っているアルバムの30曲めを選ぶ場合

- >10ボタンを押す。
「---」が表示されます。
- 0/10ボタンを押す。
カーソルが右にずれて点滅します。
- 3ボタンを押してから0/10ボタンを押す。

*2 アルバムの最初の曲から再生が始まります。曲が入っていないアルバムを選ぶことはできません。

*3 登録されているプレイリストはアルバムの1つとして表示されます。通常のアルバムは「001」~「999」と表示され、プレイリストは「P01」~「P10」と表示されます。

*4 0を入力するときは0/10ボタンを使います。例)アルバム番号が100以上ある場合で、アルバム番号30を選ぶ場合

- ALBUMボタンを押す。
「---」が表示されます。
- 0/10ボタンを押す。
カーソルが右にずれて点滅します。
- 3ボタンを押してから0/10ボタンを押す。

*5 再生中の曲が入っているアルバム内で、聞きたい部分を探すことができます。

ご注意

外部入力に切り換えたときは(ANALOGまたはOPTICALボタンを押して「Analog In」または「Optical In」が表示されている状態)、HDDの再生はできません。

ちょっと一言

- 全曲数と全再生時間、または全曲数とアルバムの残り時間を表示しているときに、◀◀◀ボタンを押すと、すばやく最後の曲を選ぶことができます(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを◀◀◀方向へ回します)。
- 一時停止中、◀◀◀または▶▶▶ボタンを押すと、曲の頭で一時停止することができます(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを◀◀◀/▷▷▷方向へ回します)。
- 一時停止中、ALBUM +/- ボタンを押すと、アルバムの頭で一時停止することができます(本体ではALBUMつまみを回します)。
- アルバム番号「001」を表示しているときにALBUM-ボタンを押すと、プレイリスト(P01~P10)を表示することができます(プレイリストが登録されているときのみ)。

表示窓の使いかた

表示窓を使っていろいろな情報を調べることができます。

操作する前にHDDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してHDDランプを点灯させてください。

再生中



名前情報を表示するには

DISPLAYボタン（本体ではDISPLAY/CHARボタン）を繰り返し押す。

押すたびに表示は次のように変わります。

- 曲を選択していないとき
アルバム名 → アルバムのアーティスト名
- 曲を選択しているとき
曲名 → 曲のアーティスト名 → アルバム名

時間情報を表示するには

TIMEボタンを繰り返し押す。

押すたびに表示は次のように変わります。
アルバムの全曲数と全再生時間 →
HDDの録音済みスペース（%）

再生中



名前情報を表示するには

DISPLAYボタン（本体ではDISPLAY/CHARボタン）を繰り返し押す。

押すたびに表示は次のように変わります。

曲名 → 曲のアーティスト名 → アルバム名

ちょっと一言

表示しきれないアルバム名または曲名（14文字以上の名前）を表示するときは、SCROLLボタンを押します。スクロール中にSCROLLボタンを押すと、スクロールを止めることができます。もう一度押すと、再びスクロールします。

時間情報を表示するには

TIMEボタンを繰り返し押す。

押すたびに表示は次のように変わります。

曲番と経過時間 → 曲番と再生中の曲の残り時間 → アルバムの残り時間

ご注意

- 「REPEAT 1」または「SHUFFLE」が選択されているときは、ディスクの残り時間は表示されません。
- HDDには音楽データ以外の情報も記憶されているため、何も録音されていない状態でも、HDDの録音済みスペースは0%にはなりません。
- アルバムの残り時間が1,000分を超えると、「-----」と表示されます。
- HDDの録音済みスペースは、はじめは使用率（%）で表示されますが、録音可能残り時間が999分59秒（「999.59」）になると時間で表示されるようになります。

プレイリストの曲を聞く

(プレイリスト登録/プレイリスト再生)

HDDの曲をプレイリストに登録することによって、好きな曲だけを集めて聞くことができます。最大10個のプレイリストを作成し、それぞれのプレイリストに400曲まで登録することができます。

本機ではP01～P10の番号がプレイリストです。

操作する前にHDDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してHDDランプを点灯させてください。

プレイリストとは

プレイリストはHDD内の曲をお好みのグループに分類するための入れ物です。好きな曲だけをプレイリストに登録して聞くことができます。プレイリストに登録される曲のデータはアルバム内に保存されているものですので、プレイリストから消してもアルバムには残ります。そのため、プレイリストには繰り返し違う曲を登録したり削除したりすることができます。

ちょっと一言

リモコンのALBUM +/-やENTERボタンの代わりに本体のALBUMつまみでも操作できます。

表示を選ぶとき：ALBUMつまみを回す。

選んだ表示を確定するとき：ALBUMつまみを押す。

曲をプレイリストに登録、再生する

- 1 登録したい曲の再生または一時停止中に、PLAYLISTボタンを押す。
- 2 ALBUM +/-ボタンを押して登録先のプレイリスト(P01～P10)を表示させ、ENTERまたはYESボタンを押す。
「Complete!」が数秒間表示されて消えるとプレイリストに登録されます。このとき本機は元のアルバム内の曲を再生しています。
- 3 「HDDを聞く」(20ページ)の手順にしたがってプレイリストを聞く。

プレイリストへの登録を途中でやめるときは

手順2でプレイリストを選んでいるときに、MENU/NOボタンを押します。

ご注意

- プレイリストに登録している曲を編集すると、登録しているすべてのプレイリストからその曲が自動的に消えます(Name機能を除く)。
- プレイリストの曲を再生しているときにPLAYLISTボタンを押して、その曲をプレイリストに登録することはできません。

ちょっと一言

停止中にリモコンのPLAYLISTボタンを押すと、現在選んでいるアルバム内の全曲をプレイリストに登録できます。

アルバムまたは曲を探す

(キーワード検索/アーティスト再生)

操作する前にHDDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してHDDランプを点灯させてください。

ちょっと一言

- 手順中の「Edit Menu」や「Setup Menu」ではリモコンの◀/▶、ENTERボタンの代わりに本体のALBUMつまみでも操作できます。
表示を選ぶとき：ALBUMつまみを回す。
選んだ表示を確定するとき：ALBUMつまみを押す。
- リモコンの◀/▶ボタンの代わりにALBUM +/- ボタンでも操作できます。

キーワードを使って探す (キーワード検索)

タイトルやアーティスト名を付けていると簡単にアルバムや曲を探すことができます。

1 停止中にSEARCHボタンを押す。

2 ◀/▶ボタンを押して探したい項目を表示させ、ENTERまたはYESボタンを押す。

探したい項目	表示
アルバム	For Album?
曲	For Track?

3 ◀/▶ボタンを押してキーワードの種類を選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

キーワードの種類	表示
タイトルを使って探す	by Title?
アーティスト名を使って探す	by Artist?

「Keyword In」が表示されます。

4 キーワードを入力する(「曲名やアルバム名、アーティスト名を付ける」(32ページ))。最大10文字入力できます。

5 YESボタンを押す。

該当する項目を見つけると、その項目の再生を始めます。

該当項目	再生内容
アルバム	アルバム内の全曲のハイライト部分を再生
曲	曲を繰り返し再生

該当する項目が複数ある場合は、◀/▶ボタンを押して(本体ではALBUMつまみを回して)該当項目を選ぶことができます。

該当する項目がない場合は、「Not Found」が表示されます。

キーワード検索を途中でやめるにはMENU/NOボタンを押します。

キーワード検索中に▷ボタンを押す(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを押す(▷))と、キーワード検索が解除されHDDの再生モードがふつうの再生に戻ります。該当項目がアルバムの場合、そのアルバムの最初の曲から再生が始まり、該当項目が曲の場合、その曲のはじめから再生が始まります。

該当項目の情報を確認する



* 該当項目が21個以上あっても「X/20」と表示されます。

** 各ページには最大20項目入ります。

DISPLAYボタン（本体ではDISPLAY/CHARボタン）を押して、アルバムの情報を見ることができます。押すたびに表示は次のように変わります。

アルバム名または曲名 → アルバム番号または曲番

ちょっと一言

- 該当項目が表示されているときにSEARCHボタンを押すと、キーワード入力画面に戻ります。前に入力したキーワードと同じ条件で別のキーワードを使って検索できます。
- 手順5でPLAYLISTボタンを押すと、検索した曲をプレイリストに登録することができます。プレイリストへの登録については20ページをご覧ください。
- 次のページを見るには、▶▶ボタンを、前のページを見るには、◀◀ボタンを押します（本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを◀◀/▶▶方向へ回します）。

アーティスト名を使って探す (アーティスト再生)

アーティスト名が付いていると、アーティスト名で検索して、お好みのアーティストの曲だけを再生することができます。

1 停止中にARTISTボタンを押す。

「Artist On」が表示されます。

2 ◀/▶ボタンを押してお好みのアーティスト名を表示させる。

押すたびに、アーティスト名が付いている曲が、登録された順番で表示されます。

3 ENTERボタンを押す。

選んだアーティスト名が付いている曲を探し始めます。探しているときは「Searching」と表示されます。探し終わると自動的に再生が始まります。

アーティスト再生を止めるにはもう一度ARTISTボタンを押します。

該当項目の情報を確認する



アーティスト名をアルファベット順または五十音順に表示する

この操作を行うと、アーティスト名の検索時にアルファベット順または五十音順にアーティスト名が表示されるようになります。五十音はアルファベットのあとに表示されません。

ご注意

一度アーティスト名をアルファベット順/五十音順に並べ換えると、その後は、登録順に表示させることができなくなります。

- 1 停止中にARTISTボタンを押す。
「Artist On」が表示されます。
- 2 ↓ボタンを押して「Sort」を選び、ENTERまたはYESボタンを押す。
「Sort OK?」が表示されます。
- 3 ENTERまたはYESボタンをもう一度押す。
「Sorting」が表示され、アーティスト名をアルファベット順/五十音順に並べ換えます。
並べ換えが終わると「Sort End」が表示されます。
- 4 「アーティスト名を使って探す(アーティスト再生)」(25ページ)の手順2、3を行う。

ご注意

- アーティスト再生中は、再生中の曲をプレイリストに登録することはできません。
- 1人のアーティストの曲が400曲以上見つかった場合、いくつかの曲は再生されないことがあります。

最近聞いたアルバムを再生する

(履歴再生)

本機は、最近再生したアルバムを20アルバムまで記憶しています。これらのアルバムを簡単に選んで聞くことができます。

操作する前にHDDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してHDDランプを点灯させてください。

- 1 停止中または再生中に、HISTORYボタンを押す。
履歴の検索が始まります。
- 2 ↑/↓ボタンを押してお好みのアルバムを選び、ENTERまたはYESを押す。
選んだアルバムの再生が始まります。

途中で止めるには

HISTORYボタンをもう一度押します。

ご注意

- 10秒以上再生したアルバムは自動的に記憶されます(リハーサル再生、再生一時停止を除く)。履歴検索中に新しいアルバムが10秒以上再生され、履歴に追加された場合は、履歴検索が中止されます。
- シャッフル再生が選択されているときは、履歴再生を行うことはできません。
- 再生中に履歴検索を行っているとき、再生が停止すると履歴検索も中止されます。

いろいろな編集のしかた (HDD)

編集するときのご 注意

編集を始める前に

HDDの再生モードがふつうの再生のときのみ、編集機能を使うことができます。

最後の編集作業を取り消すには

Undo機能(37ページ)を使います。最後の編集作業前の状態に戻ります。

以下の編集操作を行うことができます。

編集作業を途中で止めるには

MENU/NOまたは■ボタンを押します。

曲を消す

イレース
(Erase機能)

消したい曲の曲番を指定するだけで、録音した曲を簡単に消すことができます。録音した曲を消すには、次の2通りの方法があります。

- 1曲ずつ消す(Track Erase)
- アルバムのすべての曲を消す(Album Erase)

操作する前にHDDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してHDDランプを点灯させてください。

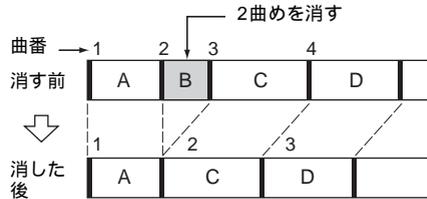
ちょっと一言

- 手順中の「Edit Menu」や「Setup Menu」ではリモコンの◀/▶、ENTERボタンの代わりに本体のALBUMつまみでも操作できます。
表示を選ぶとき：ALBUMつまみを回す。
選んだ表示を確定するとき：ALBUMつまみを押す。
- リモコンの◀/▶ボタンの代わりにALBUM +/- ボタンでも操作できます。

1曲ずつ消す(Track Erase機能)

曲番を指定するだけで、1曲をまるごと消すことができます。曲を消すと、それ以降の曲の曲番は自動的に繰り上がります。

例) 2曲め(B曲)を消すとき



- 1 編集するアルバムを選んでから停止、再生、一時停止中に、MENU/NOボタンを押す。

「Edit Menu」が表示されます。

- 2 ◀/▶ボタンを押して「Track Erase?」を選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

消したい曲を選ぶ画面になり、表示されている曲の再生が始まります。

- 3 消したい曲の曲番が表示されるまで◀/▶ボタンを押して、ENTERまたはYESボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示されて消えると、選んだ曲が消えます。

消した次の曲の再生が始まります。最後の曲を消したときは、消した前の曲の再生が始まります。

ご注意

- 曲を消すことによってアルバムまたはプレイリストに曲がなくなると、そのアルバムやプレイリストも消えます。
- プレイリストに登録されている曲を消すと、その曲はプレイリストからも消えます。編集後、Undo機能を使ってもプレイリストを元の状態に戻すことはできません。

アルバムのすべての曲を消す (Album Erase機能)

一度に、アルバムに記録しているすべての内容(アルバムの全曲と全曲名、アルバム名、アーティスト名など)を消すことができます。

1 編集するアルバムを選んでから停止、再生、一時停止中に、MENU/NOボタンを押す。

「Edit Menu」が表示されます。

2 ←/→ボタンを押して「Album Erase?」を選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

「Album Erase??」が点滅します。

3 ENTERまたはYESボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示されて消えると、アルバムの全曲と全曲名、アルバム名、アーティスト名が消えます。

ご注意

- 一度Album Erase機能を使ってアルバムを消すと、Undo機能を使っても元の状態に戻すことはできません。
- 「Erasing」が表示されている間は、本機の電源を切らないでください。

曲を分ける

ディバイド
(Divide機能)

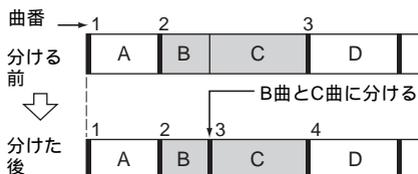
録音後に1曲を2つの曲に分けることができます。曲を分けると、それ以降の曲の曲番は順に1番ずつ加算され、連続した曲番が自動的に付きます。

操作する前にHDDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してHDDランプを点灯させてください。

ちょっと一言

- 手順中の「Edit Menu」や「Setup Menu」ではリモコンの←/→、ENTERボタンの代わりに本体のALBUMつまみでも操作できます。
表示を選ぶとき：ALBUMつまみを回す。
選んだ表示を確定するとき：ALBUMつまみを押す。
- リモコンの←/→ボタンの代わりにALBUM +/-ボタンでも操作できます。

例) 2曲目をB曲とC曲の2つに分けるときの



1 編集するアルバムを選んでから停止、再生、一時停止中に、MENU/NOボタンを押す。

「Edit Menu」が表示されます。

2 ←/→ボタンを押して「Divide?」を選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

3 分ける曲の曲番が表示されるまで◀/▶ボタンを押して、ENTERまたはYESボタンを押す。

「-Rehearsal-」が表示され、ENTERまたはYESボタンを押した位置からの数秒間を繰り返し再生します (リハーサル再生)。

4 再生される曲を聞きながら◀/▶ボタンを押して、曲を分ける位置を決める。

フレーム「f」(1フレーム=1/43秒)、秒、分単位で位置をずらすことができ、ずらした位置からのリハーサル再生が始まります。

分ける単位(フレーム、秒、分)を変えるには

◀◀または▶▶ボタンを押します(本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを◀◀/▶▶方向へ回します)。選んだ単位が点滅します。

5 分けるところを正しく再生するようになったら、ENTERまたはYESボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示されて消えると、曲が分かります。分かれ目の次の曲の頭から再生が始まります。分かれた曲に曲名が付いているときは、後の曲には曲名が付きません。

ご注意

- 曲のはじめと終わりで曲を分けることはできません。
- 編集後アルバム内の全曲数が400曲を超えてしまう場合は、曲を分けることができません。
- 編集後HDDの全曲数が40,000曲を超えてしまう場合は、曲を分けることができません。
- プレイリスト内の曲を分けることはできません。
- MP3形式の曲を分けることはできません。
- 分けた片方の曲が2秒以下になるような位置では、曲を分けることはできません。「Impossible」と表示されます。

ちょっと一言

レベルシンクロ録音機能を使って録音中に自動的に曲を分けることができます(16ページ)。

曲をつなぐ

コンバイン
(Combine機能)

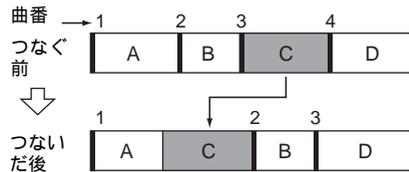
2つの曲をつないで1曲にまとめることができます。2つの曲を1つにまとめると、アルバムの全曲数は1つ減り、それ以降の曲の曲番は、自動的に連続した曲番に変わります。

操作する前にHDDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してHDDランプを点灯させてください。

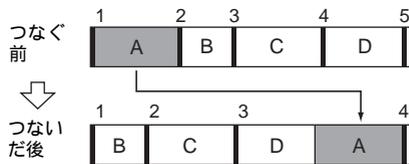
ちょっと一言

- 手順中の「Edit Menu」や「Setup Menu」ではリモコンの◀/▶、ENTERボタンの代わりに本体のALBUMつまみでも操作できます。
表示を選ぶとき：ALBUMつまみを回す。
選んだ表示を確定するとき：ALBUMつまみを押す。
- リモコンの◀/▶ボタンの代わりにALBUM +/-ボタンでも操作できます。

例) 3曲め(C曲)と1曲め(A曲)をつなぐとき



例) 1曲め(A曲)と4曲め(D曲)をつなぐとき



1 編集するアルバムを選んでから停止、再生、一時停止中に、MENU/NOボタンを押す。

「Edit Menu」が表示されます。

2 ←/→ボタンを押して「Combine?」を選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

3 つなぐ前の曲の曲番が表示されるまで←/→ボタンを押して、ENTERまたはYESボタンを押す。

つなぐ後ろの曲を選ぶ画面になり、つなぎ目の部分（つなぐ前の曲の終わりと後ろの曲のはじめ）を繰り返し再生します。

4 つなぐ後ろの曲の曲番が表示されるまで←/→ボタンを押して、ENTERまたはYESボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示されて消えると、曲がつながります。つないだ曲の再生が始まります。

ご注意

- 両方の曲に名前が付いているときは、つなぐ2曲の1曲めの名前になり、2曲めの曲の名前は消去されます。
- 「Impossible」が表示された場合、その2曲は編集作業が繰り返し行われたために、1曲につなぐことができなくなっています。これは、HDDのシステム上の制約であり、故障ではありません。
- 編集後つないだ曲の合計再生時間が120分を超えてしまう場合、その2曲はつげません。
- プレイリスト内の曲はつなげません。
- 異なる形式（Linear PCM、ATRAC3、MP3）で録音された曲どうしはつなげません。
- MP3形式の曲はつなげません。
- 入力信号の違いにより、異なるコピー禁止情報（シリアルコピーマネジメントシステム（41ページ））を含む曲どうしはつなげません。

曲またはアルバムを移動する

△-▽
(Move機能)

曲やアルバムを好きな位置に移動して、曲順またはアルバムの順序を変えることができます。移動後の曲番またはアルバム番号は、自動的に改めて連続した番号が付きます。

操作する前にHDDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してHDDランプを点灯させてください。

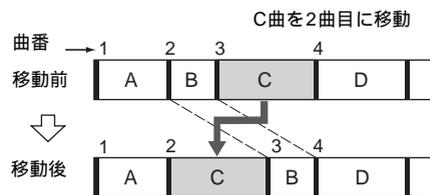
ちょっと一言

- 手順中の「Edit Menu」や「Setup Menu」ではリモコンの←/→、ENTERボタンの代わりに本体のALBUMつまみでも操作できます。
表示を選ぶとき：ALBUMつまみを回す。
選んだ表示を確定するとき：ALBUMつまみを押す。
- リモコンの←/→ボタンの代わりにALBUM +/- ボタンでも操作できます。

曲を移動する

曲を移動すると、曲順は自動的に連続した曲番に変わります。

例) C曲を2曲目に移動するとき



1 編集するアルバムを選んでから停止、再生、一時停止中に、MENU/NOボタンを押す。

「Edit Menu」が表示されます。

2 ←/→ボタンを押して
「Move?」を選び、ENTER
またはYESボタンを押す。

3 移動する曲番が表示されるまで
←/→ボタンを押して、
ENTERまたはYESボタンを
押す。

4 移動先の場所が表示されるまで
←/→ボタンを押して、
ENTERまたはYESボタンを
押す。
「Complete!」が数秒間表示されて消え
ると曲が移動し、移動した曲が最初か
ら再生されます。

アルバムを移動する

アルバム番号1～999のアルバムを並べ換える
ことができます (P01～P10はプレイリス
ト番号です)。

選択したアルバム内の全曲を、曲の入ってい
ないアルバム内に移動することができます。

1 編集するアルバムを選んでか
ら、停止、再生、一時停止中
にMENU/NOボタンを押す。
「Edit Menu」が表示されます。

2 ←/→ボタンを押して
「Move?」を選び、ENTER
またはYESボタンを押す。

3 ←/→ボタンを押して
「Album」を選び、ENTER
またはYESボタンを押す。

4 移動先のアルバムが表示され
るまで←/→ボタンを押し
て、ENTERまたはYESボタ
ンを押す。

「Complete!」が数秒間表示されて消え
るとアルバムが移動し、移動したアル
バムが現在選択しているアルバムにな
ります。

ご注意

- アルバム内の曲をプレイリストに、プレイリス
ト内の曲をアルバムに移動することはできません。
- アルバムを移動してプレイリストを作成するこ
とはできません。同様にプレイリストを移動して
アルバムを作成することはできません。
- 曲の入っていないアルバム (またはプレイリス
ト) がないと、アルバム (またはプレイリス
ト) を移動することができません。
- アルバムを移動してもアルバム内の曲順は変わ
りません。

ちょっと一言

曲の移動先を選んでいるときに、ALBUMボタンを
押すと、移動先のアルバムを選択することができ
ます。移動先のアルバムを変えると、アルバム内の最
後に曲が移動します。

曲名やアルバム名、アーティスト名を付ける

ネーム
(Name機能)

アルファベットの大文字や小文字、数字、記号、カタカナを使って、曲名やアルバム名、アーティスト名を付けることができます。それぞれの名前に127文字まで入力できます。

曲やアルバムに名前を付けるには次の方法があります。

- リモコンや本体を使って名前を付ける（このページ～33ページ）
- 本体にキーボードをつないで名前を付ける（39ページ）
- パソコンにつないで名前を付ける（付属のCD-ROM内の「M-crew for HAR-LH500」のヘルプをご覧ください）
- 「M-crew for HAR-LH500」ソフトウェアを使って、Gracenote CDDB®サーバから自動的に名前を付ける（付属のCD-ROM内の「M-crew for HAR-LH500」のヘルプをご覧ください）

操作する前にHDDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してHDDランプを点灯させてください。

ご注意

- 録音中に曲名やアルバム名、アーティスト名を付けることはできません。
- プレイリスト内の曲に曲名やアーティスト名を付けることはできません。また、消したり変更したりすることもできません。

ちょっと一言

- 手順中の「Edit Menu」や「Setup Menu」ではリモコンの◀/▶、ENTERボタンの代わりに本体のALBUMつまみでも操作できます。
表示を選ぶとき：ALBUMつまみを回す。
選んだ表示を確定するとき：ALBUMつまみを押す。
- リモコンの◀/▶ボタンの代わりにALBUM +/- ボタンでも操作できます。

1 編集するアルバムを選んでからNAME EDIT/SELECTボタンを押す。

付けるタイトルが、曲名かアルバム名かで、操作する状態が異なります。次の表にしたがって操作してください。

付けるタイトル	操作する状態
曲名	再生中（曲番が表示されているとき）
アルバム名/プレイリスト名	停止中（全曲数を表示しているとき）

カーソルが表示されます。

2 NAME EDIT/SELECTボタンを押して、文字の種類を選ぶ。

押すたびに入力できる文字が次のように変わります。

「Selected AB」（大文字アルファベットまたは記号*）→「Selected ab」（小文字アルファベットまたは記号*）

→「Selected 12」（数字）→

「Selected ア」（カタカナ）**

* 表示できる記号は以下の通りです。

! - / . () ! ? & + < > _ = " ; # \$ % @ *

** 通常の五十音に加え、小文字のアイウエオやヨツが表示できます。また、>10ボタンを押すと、°（濁点）、◌°（半濁点）を表示できます。

1文字分空けるときは、0/10ボタンを押します。

3 希望の文字のアルファベット / 数字 / カタカナボタンを押す。

数字を選んだとき

押したボタンの数字が表示されます。

アルファベット / カタカナを選んだとき

1 希望の文字があるボタン (ABC、DEFまたはア (行) カ (行) など) を、希望の文字が表示されるまで、繰り返し押す。

ALBUM +/- ボタンを繰り返し押ししても、文字を切り換えることができます。

2 ▶▶ ボタンを押す。

選んだ文字が点灯し、カーソルが右に移動します。

4 手順2と3を繰り返して、希望のタイトルを表示させる。

間違えた文字を修正するときは

◀◀ / ▶▶ ボタンを使って間違えた文字を点滅させ、CLEAR ボタンを押してその文字を消してから、手順2と3を繰り返します。

5 YES ボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示されて消えると、入力した名前が付きます。

Edit Menu を使って曲名やアルバム名、アーティスト名を付ける

1 編集するアルバムを選んでから、MENU/NO ボタンを押す。

「Edit Menu」を表示させる。

2 ◀ / ▶ ボタンを押して「Name In?」を選び、ENTER または YES ボタンを押す。

3 ◀ / ▶ ボタンを押して名前かアーティスト名かを選び、ENTER または YES ボタンを押す。

名前を付けるもの	選ぶ表示
曲、アルバム、またはプレイリストに名前を付けるとき	Name Title?
曲、アルバム、またはプレイリストのアーティスト名を付けるとき	Name Artist?

4 ←/→ボタンを押して曲名かアルバムまたはプレイリスト名かを選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

名前を付けるもの	選ぶ表示
曲名	Name In Tr X
アルバム名またはプレイリスト名	Name In Album

カーソルが表示され、曲名またはアルバム名、プレイリスト名、アーティスト名を入力できます。

曲番を表示させたときは自動的に再生が始まります。曲の確認ができます。

5 DISPLAYボタン（本体ではDISPLAY/CHARボタン）を押して、文字の種類を選ぶ。

押すたびに入力できる文字が次のように変わります。

A（大文字アルファベット）→ a（小文字アルファベット）→ 0（数字）→ '（記号）→ ア（カタカナ）

6 希望の文字が表示されるまで、←/→ボタンを押す。

選んだ文字が点滅します。

記号を入力するときは

表示できる記号は以下の通りです。

' - / , () : ! ? & + < > _ = " ; # \$ % @ * `

カタカナでは、通常の五十音に加え、小文字のアイウエオヤユヨツ、およびゝ（濁点）、ゞ（半濁点）を表示できません。

文字の種類を変えたいときは

DISPLAYボタンを押します（手順5参照）。

濁点（ゝ）または半濁点（ゞ）を入力するときは「カ」や「ハ」など、濁音または半濁音が存在する文字を選んだ直後のみ入力できます。

1文字分空けるときは

空けたい部分にカーソルが点滅しているときに、⏪（0/10）ボタン（本体ではALBUMつまみ）を押します。

7 ENTERボタンを押す。

選んだ文字が点灯します。カーソルが右に移動し、点滅します。

8 手順5～7を繰り返して、希望のタイトルを入力する。

文字を変更するには

⏪/⏩ボタンを押して（本体ではPLAY/NEXT/PREVつまみを⏪/⏩方向へ回して）間違えた文字を点滅させ、CLEARボタンを押して文字を消してから、手順5～7を繰り返します。

9 YESボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示されて消えると、入力した名前が付きます。

曲名やアルバム名、プレイリスト名、アーティスト名をコピーして付ける (Name Copy機能)

あらかじめ付いている曲名やアルバム名、アーティスト名をコピーして名前を付けることができます。

- 1 停止中、再生中、一時停止中に、コピーしたい名前が付いているアルバムを選んでいる状態で、MENU/NOボタンを押す。

「Edit Menu」が表示されます。

- 2 ←/→ボタンを押して「Name Copy?」を選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

- 3 ←/→ボタンを押してコピーするものを選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

コピーするもの	選ぶ表示
曲名またはアルバム名	Copy Title?
アーティスト名	Copy Artist?

- 4 ←/→ボタンを押してコピー元の曲、アルバム、またはプレイリストを選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

コピー元	選ぶ表示
曲	Name Cpy Tr X?
アルバム	Name Cpy Album?

- 5 ←/→ボタンを押してコピー先の曲、アルバムを選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

ご注意

Name Copy機能を使って名前をコピーした後に、Undo機能を使って元に戻すことはできません。

ちょっと一言

一度にアルバム内のすべての曲に名前を付けることができます。手順5でコピー先に「ALL」を選ぶと、選択したアルバム内のすべての曲に名前がコピーされます。

曲名やアルバム名、プレイリスト名、アーティスト名を変更する

- 1 「リモコンで曲名やアルバム名、アーティスト名を付ける」(32ページ)の手順1、または「Edit Menuを使って曲名やアルバム名、アーティスト名を付ける」(33ページ)の手順1~4を行う。

タイトルまたはアーティスト名が表示されます。

- 2 消したい文字がすべて消えるまで、CLEARボタンを押す。

- 3 曲名やアルバム名、アーティスト名を付け直す。

「リモコンで曲名やアルバム名、アーティスト名を付ける」の手順2~4(32ページ)を行うか、または、「Edit Menuを使って曲名やアルバム名、アーティスト名を付ける」の手順5~8(34ページ)を行います。

- 4 YESボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示されて消えると、入力した名前が付きま

タイトルやアーティスト名を消す (Name Erase機能)

タイトルやアーティスト名を指定して消すことができます。

- 1 編集するアルバムを選んでから停止中、再生中、一時停止中に、MENU/NOボタンを押す。

「Edit Menu」が表示されます。

- 2 ←/→ボタンを押して「Name Erase?」を選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

- 3 ←/→ボタンを押して名前を消したいものを表示させ、ENTERまたはYESボタンを押す。

名前を消すもの	選ぶ表示
タイトル	Erase Title?
アーティスト名	Erase Artist?

録音中は、「Complete!」が数秒間表示され、付いていた名前が消えます。

- 4 ←/→ボタンを押して消したい名前が付いているアルバムまたは曲番を選び、ENTERまたはYESボタンを押す。

消したい名前が付いているもの	選ぶ表示
曲	Name Ers TrX
アルバムまたはプレイリスト	Name Ers Album

「Complete!」が数秒間表示されて消えると、付いていた名前が消えます。

最後に行った編集操作を取り消す

アンドウ
(Undo機能)

最後に行った編集操作を取り消し、その前のHDDの内容に戻します。ただし、編集後に次のいずれかの操作をすると取り消すことができません。

- 他の編集作業をする。
- 録音をする。
- プレイリストの登録をする。
- 電源を切る。
- 電源プラグをコンセントから抜く。

操作する前にHDDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してHDDランプを点灯させてください。

ちょっと一言

- 手順中の「Edit Menu」や「Setup Menu」ではリモコンの←/→、ENTERボタンの代わりに本体のALBUMつまみでも操作できます。
表示を選ぶとき：ALBUMつまみを回す。
選んだ表示を確定するとき：ALBUMつまみを押す。
- リモコンの←/→ボタンの代わりにALBUM +/- ボタンでも操作できます。

1 停止中、再生中、一時停止中にMENU/NOボタンを押す。
「Edit Menu」が表示されます。

2 ←/→ボタンを押して「Undo?」を選ぶ。
編集操作をしていないときは、「Undo?」は表示されません。

3 ENTERまたはYESボタンを押す。
最後に行った編集操作に応じて、メッセージが表示されます。

4 もう一度、ENTERまたはYESボタンを押す。
「Complete!」が数秒間表示されて消えると、編集前のHDDの内容に戻ります。

その他の操作

音楽を聞きながら眠る

(スリープタイマー)

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は30分単位で設定できます。

- 1 お好みの時間 (Off、30min、60min、90min、120min) が表示されるまでSLEEPボタンを押す。
「SLEEP」が表示されます。

セットアップメニューを使って設定する

ちょっと一言

- 手順中の「Edit Menu」や「Setup Menu」ではリモコンの◀/▶、ENTERボタンの代わりに本体のALBUMつまみでも操作できます。
表示を選ぶとき：ALBUMつまみを回す。
選んだ表示を確定するとき：ALBUMつまみを押す。
- リモコンの◀/▶ボタンの代わりにALBUM +/- ボタンでも操作できます。

- 1 MENU/NOボタンを押す。
「Edit Menu」が表示されます。
CDを選んでいるときは、「Setup Menu」が表示されます。その場合は、手順3へ進んでください。
- 2 ◀/▶ボタンを押して「Setup?」を表示させ、ENTERまたはYESボタンを押す。
- 3 ◀/▶ボタンを押して「Sleep Off」または「Sleep XXmin」を表示させ、ENTERまたはYESボタンを押す。
- 4 ◀/▶ボタンを押してお好みの時間 (Off、30min、60min、90min、120min) を選び、ENTERまたはYESボタンを押す。
「SLEEP」が点灯します。
- 5 MENU/NOボタンを押す。
指定した時間がたつと電源が切れます。

ちょっと一言

残り時間を確認するときはセットアップメニューで「Sleep」を選択します。

曲のファイル形式を変える

(録音データ圧縮機能)

Linear PCM形式 (お買い上げ時の録音モード) で録音された曲をATRAC3形式に変換することができます。ATRAC3形式に変換すると曲データが圧縮され、HDDに長時間録音できるようになります。

操作する前にHDDボタンを押してください。本体ではCD/HDDボタンを押してHDDランプを点灯させてください。

- 1 停止中、変換したい曲やアルバムが選ばれている状態で、ATRAC3 CONVERTボタンを押す。
「PCM→ATRAC3?」が表示されます。

- 2 YESボタンを押す。
もう一度「PCM→ATRAC3??」が表示されます。

- 3 YESボタンを押す。
変換が始まります。変換中は、進行状況を表すパーセンテージが表示されます。
変換が終わると「Complete!」が表示されます。

ご注意

- 長い曲やたくさんの曲が入っているアルバムを変換すると、曲の総再生時間の約半分ほどの時間がかかります。
- MP3形式やATRAC3形式の曲は変換することができません。

ちょっと一言

アルバムを選んで変換すると、アルバムの中のLinear PCM形式の曲だけをATRAC3形式に変換します。

キーボードを使って操作する

キーボードを準備する

キーボードを本体につないで名前を入力したり、簡単な操作をすることができます。

キーボードはIBM PC互換機用でPS/2インターフェースのものならどれでも使用できます(120 mA以下のものをご使用ください)。日本語対応キーボードのみ使うことができます。

本体にキーボードを接続する

キーボードのコネクタを、本体前面のKEYBOARD端子に接続します。

キーボードを使って曲やアルバムに名前を付ける

キーボードを使うと、名前の入力や編集が簡単にできます。

1 [ENTER]キーを押す。

次の状態のときに操作してください。

付けたい名前	本体の状態
曲	曲番が表示されている
アルバム	停止中で、アルバム内の全曲数が表示されている

2 名前を入力する。

名前を入力中の、文字入力以外の操作に関しては、次の表をご覧ください。

3 [ENTER]キーを押す。

曲名またはアルバム名が表示されます。

名前入力中のできるその他の操作

操作	押すキー
名前を付けるのを途中で止める	[Esc]
大文字アルファベット入力と小文字アルファベット入力を切り換える	[Caps Lock]
カタカナ入力にする	[カタカナ・ひらがな]
アルファベット入力にする	[Caps Lock]
カタカナ入力時、ローマ字入力と直接入力を切り換える	[Alt]+[カタカナ・ひらがな]
カーソルを移動する	[←]または[→]
カーソル上の文字を消す	[Delete]
カーソルの手前の文字を消す	[Back Space]

ちょっと一言

- カタカナ入力時のローマ字入力からカタカナへの変換は、カタカナ1文字が確定するたびに自動的に行われます。変換中のローマ字は[Back Space]キーで削除して修正することができます。
- カタカナ入力時のローマ字入力と直接入力の切り換えは、次の表示が出たあとに行われます。
ローマ字入力:「Selected R」
カナ直接入力:「Selected ア」

キーボードを使って本体を操作する

リモコンまたは本体のボタンの代わりにキーボードのキーを使って本体を操作することができます。

リモコンまたは本体のボタン	使うキー
▷	[F1]
	[F2]
■	[F3]
ALBUM -	[F9]
◀◀	[F10]
▶▶	[F11]
ALBUM +	[F12]

使用上のご注意

電源について

- 電源をコンセントから抜く前に、必ず本体の電源を切ってください。
- 長時間お使いにならないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを抜くときは、必ずプラグ部分を持ち、コードを引っ張って抜いたりしないでください。
- 電源コードを取り換える際は、ソニーサービス窓口にご相談ください。

設置場所について

本機の上にアンプなど重いものを置かないでください。

また、次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。(チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)

音量を調節するときは

HDDは非常に雑音が少なくなっています。アナログカセットテープのときのように音のない部分で雑音を聞きながら音量を調節すると、思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

再生を始める前には音量を必ず小さくしておきましょう。

結露について

寒いときにお部屋の暖房を入れた直後など、本機の内部に水滴が付くことがあります。これを結露といいます。そのままでは、正常に働かないばかりでなく、CDや部品もいためてしまいます。本機をご使用にならないときは、CDを取り出ししておくことをおすすめします。

結露が生じたときは、電源を入れたまま、しばらくの間(約1時間)放置し、再度電源を入れ直してからご使用ください。もし何時間たっても正常に動作しない場合は、ソニーサービス窓口にご連絡ください。

CDの取り扱いかた

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 本機ではCD(円形ディスク)のみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となります。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高音になるところには置かないでください。
- 中古CDやレンタルCDで、シールなどのりがはみ出したり、付着しているCDは使用しないでください。プレーヤー内部にCDが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

高速CD-HDDシンクロ録音について のご注意

録音するCDの状態によっては、高速CD-HDDシンクロ録音をすると、音が飛んだり雑音が入ったり、場合によっては、不要な曲番が付いたりすることがあります。その場合は、「CDの取り扱いかた」(40ページ)をご覧ください。CDのお手入れをした後、ふつうのCD-HDDシンクロ録音をしてください。

ハードディスクの取り扱いかた

ハードディスクは記録密度が高いので、フロッピーディスクに比べ、短時間でデータの読み取りまたは書き込みが可能です。その一方で、ハードディスクはほこりや衝撃、振動に弱く、磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。

ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記録したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま本機を動かさないでください。
- 録音または再生中は、電源コードを抜いたりしないでください。電源コードは、 (電源) スイッチで本体の電源を切ってから抜いてください。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビ、スピーカーなどのような磁気を帯びた物の近くには置かないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。

デジタル録音の制約 シリアルコピー マネージメントシステム

デジタルオーディオでは、音声信号をデジタルでやりとりします。コンパクトディスク(CD)、ミニディスク(MD)、デジタルオーディオテープ(DAT)、衛星デジタル音楽放送などがこれに当たります。これらは音楽を手軽に、劣化の少ない状態でコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。それが「シリアルコピーマネージメントシステム」です。本機的设计はこのシステムに準拠しています。概要は以下の通りです。

原則1

デジタル録音したのから、さらに他のデジタル録音機器(MDやDATデッキなど)へのデジタル録音はできない。

原則2

アナログ録音したものは、他のデジタル録音機器へ1度だけデジタル録音できる。

ご注意

- BS/CSデジタルチューナーからはデジタル録音できないことがあります。これは、放送局側で放送チャンネルや番組のデジタル録音を、禁止または制約する場合があります。
- 機器のアナログ入出力端子どうしを接続してアナログ録音するときは、上記の原則にあたりません。
- 著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、以下の手順に従って点検してください。

表示窓にメッセージが表示されている

Impossible

いいえ

はい
⇒ メッセージ表示一覧(43ページ)へ

下記を参照して、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

操作一般

音が出ない。

- 接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- アンプを正しく操作してください。
- リモコンで操作できない。
- リモコンと本体との間に障害物がない状態で操作してください。
- リモコンの乾電池を交換してください。

本機が正しく動作しない。

- 電源を入れ直してください。

CD部

再生が始まらない。

- CDが入っていない(「No Disc」が表示されている)ので、CDを入れてください。
- CDが裏返しに入っているか、ななめに入っているの、正しく入れ直してください。
- CDが汚れているので、きれいにしてください。
- 結露(内部に水滴が付着)しているので、CDを取り出して電源を入れたままの状態ですら約1時間放置し、再度電源を入れ直してから再生を始めてください。

HDD部

再生が始まらない。

- 結露(内部に水滴が付着)しているのでそのまま数時間置いてください。
- 電源を入れてください。

録音できない。

- 音源と正しく接続されていないので接続し直してください。
- 接続を確認し、CD、OPTICAL、またはANALOGボタンを押して、録音したい音源を正しく選んでください。
- アナログ入力時に録音レベルが小さすぎるので、録音レベルを調節してください(19ページ)。
- 録音中に電源コードが抜かれた、または停電になったため、それまでの録音の内容は失われる恐れがあります。正常に録音できていないときは、はじめから録音し直してください。
- プレイリスト(P01~P10)が選ばれているので、録音先のアルバムを選び直してください。

編集できない。

- 「SHUFFLE」が点灯しているときは編集できません。PLAY MODEボタンを繰り返し押し表示を消してください。

雑音が多い。

- テレビなどから充分離しておいてください。

メッセージ表示一 覧

お使いになっているとき、状況により、英語のメッセージが出ます。日本語の意味は下の表のとおりです。

表示	意味
Album Full!	HDDに曲の入っていないアルバムがない。曲を録音して新しいアルバムを作ることができない。
Auto Cut	録音中、無音状態が30秒以上続いたため、オートカット機能が働き無音部分(曲間)を約3秒に短縮したあと、録音一時停止状態になった。
Blank Disc	HDD上に曲が録音されていない。
Cannot Copy	CD-ROMのような本機が対応していないフォーマットのCDを録音しようとした。または音源が市販の音楽ソフトのコピーである。デジタル録音できない状態になっている(41ページ)。
Cannot Edit	シャッフル再生の状態ではHDDを編集しようとした。また、すでに400曲入っているプレイリストに曲を登録しようとした。
Cannot Play	音楽データが破損しているためその曲を再生できなかった。CD-ROMやビデオCDなど、本機が対応していないフォーマットのCDを再生しようとした。
Cannot Rec	プレイリストを選択している状態で録音しようとした。

表示	意味
Din Unlock	一瞬表示されて消えるときは、録音中のデジタル放送の信号によるもので、録音内容に影響はない。デジタルオプチカル入力端子につないだ機器からのデジタル録音中にデジタル接続ケーブルが抜けた、またはつなっているデジタル機器の電源が切れた。
Drive Error	お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
Drive Full!	HDDに録音できる十分なスペースがない、または録音できる最大曲数に達したので録音できない。
Erasing	HDDのデータを消している。表示が出ている間は、電源コードを抜いたりしない。
Format Error	お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
Impossible	編集操作または録音操作で、不可能な内容が指定された。
Name Full!	HDDの名前入力最大文字数(約127文字)に達した。
No Artist	アーティスト名が付いていない。
No Disc	CDが入っていない。またはDVDが入っている。
No Name	タイトルが入力されていない。
No Signal	録音中に無音部分があった。
Reading	HDDのデータを読み込んでいる。
Rec Error	正しく録音できなかった。
REMOTE	USBケーブルでパソコンとつながっている。*
Smart Space	録音中、3秒以上、30秒未満の無音状態が続いたためスマートスペース機能が働き、無音部分が約3秒に短縮された。

表示	意味
Step Full!	プログラム最大曲数に達しているため、プログラムに曲を追加できない。
TOC Reading	CDのTOC情報を読み込んでいる。
Track Full!	アルバムに400曲入っているため録音できない。

* パソコンと接続されていないときに「REMOTE」と表示されたときは、本体の電源を切り、もう一度入れ直してください。

セットアップメニューの項目一覧

本機では「Setup Menu」で、さまざまな設定ができます。各設定に必要な操作については、それぞれの項目で述べてあるとおりですが、各メニューの働き、設定値、初期値などを以下の表にまとめました。操作のご参考にお使いください。

ご注意

停止中、再生中、録音中によって、設定できるメニューは変わります。

項目	参照ページ
Rec Mode (LinearPCM/ATRAC3)	13ページ
Sync (High/Normal)	12ページ
Analog In (XX dB)	19ページ
Tr.Mark (Lsync/Off)	16ページ
L.Sync(T) (-72 dB ~ 0 dB)	17ページ
Smart Space (On/Off)	18ページ
Sleep (Off/30/60/90/120 min)	38ページ

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ハードディスクオーディオレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型式：HAR-LH500
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

主な仕様

CD部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
周波数特性	5 ~ 20,000 Hz \pm 0.5 dB
SN比	95 dB以上*
全高調波ひずみ率	0.005%以下*
ワウ・フラッター	測定限界 (\pm 0.001% W. PEAK) 以下*

HDD部

容量	80 GB
コーディング	Linear PCM/アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング 3 (ATrac3)
転送率	132 kbps (ATrac3のとき)
最大録音時間	約1,340時間 (ATrac3のとき) 約125時間 (Linear PCMのとき)
最大アルバム数	999
最大曲数	40,000
1アルバムあたりの最大曲数	400
最大CD-HDDダビング速度**	最大3倍 (ATrac3のとき) 最大12倍 (Linear PCMのとき)

* JEITA (電子情報技術産業協会) の規格による測定値です。

** ディスクの状態により、遅くなることもあります。

入力端子

端子名	端子形状	入力インピーダンス	基準入力レベル	最小入力レベル
アナログ入力	ピンジャック	47k	500 mVrms	125 mVrms
デジタルオプチカル入力	角形光コネクタージャック	発光波長 660nm		

出力端子

端子名	端子形状	出力レベル	負荷インピーダンス
アナログ出力	ピンジャック	2 Vrms (50k 時)	10 k 以上
デジタルオプチカル出力	角形光コネクタージャック		発光波長 660nm

USB端子

シリーズB、セルフパワー、フルスピード

KEYBOARD端子

PS/2 (IBM PC互換機用)

電源・その他

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	20W (待機時 0.6W)
最大外形寸法	430 x 65 x 288mm (幅 / 高さ / 奥行、最大突起部含む)
質量	約 4.3kg

付属品

6ページをご覧ください。

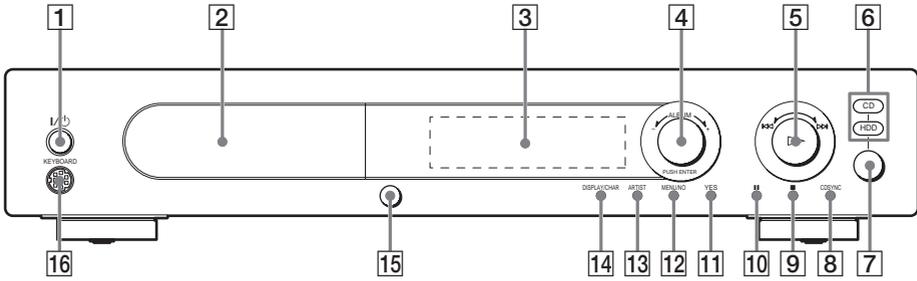
ドルビーラボラトリーの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



- 待機時消費電力 0.6W
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- 主なはんだ付け部に無鉛はんだを使用

本体(前面)



五十音順

表示窓 ③ (10, 19, 22)

アルファベット順

ALBUM(+/-)つまみ ④ (13, 21, 34, 38)

ARTIST ⑨ (25)

CDトレイカバー ② (8)

CD/HDD ⑦ (8, 12, 20, 27, 38)

CD/HDDランプ ⑥ (8, 12, 20, 27, 38)

CD SYNC ⑧ (13)

DISPLAY/CHAR ⑩ (10, 22, 34)

KEYBOARD端子 ⑫ (39)

MENU/NO ⑫ (12, 27, 38)

PLAY/NEXT/PREV [▶] [⏪] [⏩] つまみ ⑤ (8, 13, 20, 34)

YES ⑪ (12, 23, 27, 38)

記号

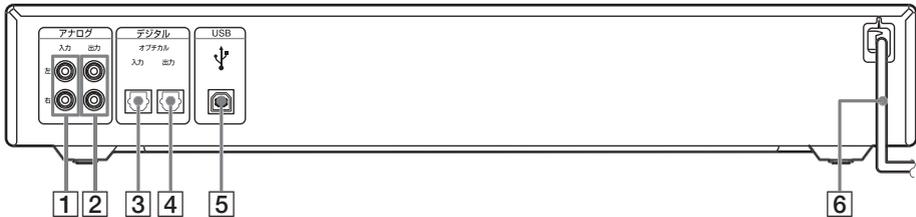
⏻ (電源) ① (8, 12, 20)

▲ ⑮ (8)

⏪ ⑩ (9, 13, 21)

■ ⑨ (9, 13, 21, 27)

本体(後面)



五十音順

アナログ入力(右/左) 端子 ① (7)

アナログ出力(右/左) 端子 ② (7)

デジタルオプチカル入力端子 ③ (7)

デジタルオプチカル出力端子 ④ (7)

電源コード ⑥ (7)

アルファベット順

USB端子 ⑤ (7)

● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

お客様相談センター

● ナビダイヤル……………0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX…………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in Malaysia